

「事業名:モビリティ・イノベーション社会実装・産業創生国際拠点の構築」 2020年度事業の概要

東北大学（共同申請校:東京大学、明治大学） 連携市町村:南相馬市、浪江町
現地拠点: 福島県南相馬市原町区萱浜新赤沼83 福島ロボットテストフィールド 研究棟 研究室12

事業のポイント

福島浜通り地域に次世代モビリティ(自動運転、EV、コネクテッドモビリティ、新サービス(いわゆるCASE))の研究実証・地域実装の推進拠点を整備し、全国大学のネットワーク(モビリティ・イノベーション連携会議等)により産学共創による研究集積・実証実験・社会実装・産業創出、およびそのための人材育成を推進し、さらに将来的には国際的な研究拠点への発展を目指していく。

2020年度の取り組み内容

○教育活動

- 1 月例セミナー(福島浜通り次世代モビリティセミナー)の開催
- 2 地域との協業による次世代モビリティIoT人材のOJT育成

○研究活動

- 1 次世代モビリティ実証用プラットフォーム車両の機能強化(自動運転化等)
- 2 次世代モビリティ研究開発拠点の機能強化(拠点体制の拡充、先進ICT環境整備)
- 3 実証車両による周辺の計測と地域ITSデータセンターの拡充
- 4 非接触給電等によるエネルギー・モビリティ統合システムの研究開発
- 5 次世代モビリティ関連分野の産学共同研究推進

○地域課題解決活動

- 1 WRS等に向けた現地交通課題への対応、各研究開発の実証・実装
- 2 周辺市町村における課題のヒアリングとその解決に向けた地域と連携した取組
- 3 周辺交通に関する検討、将来計画策定等への協力



取り組みによって得られる成果

- 次世代モビリティ研究開発・実証実験成果の集積
- 次世代モビリティのための給電システムの展開に向けた知見収集
- 地域ITSデータセンターによる実社会データのヘテロ集積・活用
- 自動運転車における作動状況記録データの有効活用とそれによる有効な補償体系の再構築

